

1. 研究の名称

データに基づく地域包括ケア推進に向けた自治体支援の効果に関する研究：クラスターランダム化比較試験：Municipal Support for Advancing Data-Driven Management of Community-based Integrated Care: A Cluster Randomized Controlled Trial (略称：MUSUBI Study)

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

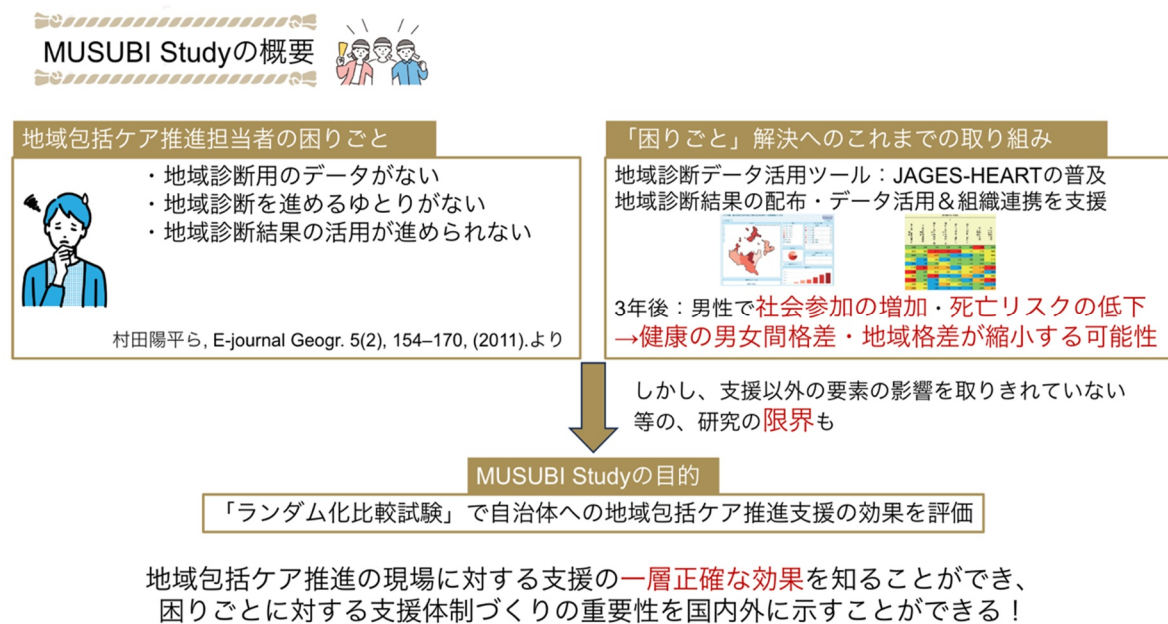
研究責任者：京都大学大学院医学系研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学分野・教授・近藤尚己
共同研究機関：千葉大学、浜松医科大学、東京科学大学、日本福祉大学、香川大学

4. 研究の目的・意義

本研究の目的は、対象自治体を無作為に割り付けたクラスターランダム化比較試験を実施し、市町村の地域診断データを活用した市町村への伴走型支援が (1)高齢者の Functional Ability 維持・向上とその格差是正に因果効果があるか、(2) 当該市町村職員のスキル向上や、環境や防災等、保健医療を超えた重要な地域社会の課題との co-benefits があるかを検証することです(図 1)。

本研究の意義は、地域包括ケアシステムの推進支援の効果をランダム化比較試験で評価することで、各地でヘルシー・エイジングを推進するための有効な支援に関する示唆を得られる点にあります。

図 1. 研究の目的



5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日より 2030 年 3 月 31 日まで

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2019 年 11 月～2020 年 1 月・2022 年 11 月～2022 年 12 月に実施済みで、2025 年度・2028 年度にも実施が予定されている JAGES コホート研究「日本老年学的評価研究 (Japan Gerontological Evaluation Study, JAGES) - 災害被災地を含む高齢者の健康と暮らしに関する疫学研究 -」(京都大学医の倫理委員会承認番号：R3153)の「健康と暮らしの調査」に参加した市町村において、

- 【1】上記「健康とくらしの調査」に回答した 65 歳以上の方
【2】地域包括ケア推進担当部署に勤務する職員

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

情報の利用目的：市町村への伴走型支援が

(1)高齢者の Functional Ability 維持・向上とその格差是正に因果効果があるか

(2)当該市町村職員のスキル向上や、環境や防災等、重要な地域課題との co-benefits があるか
について分析するためです。

情報の利用方法：研究者は、個人を特定できないように ID 化された電子データ（匿名加工情報）としてデータの授受を行い、利用します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

利用する情報：

【1】千葉大学および日本老年学的評価研究（JAGES）機構が主体として実施する、研究対象自治体
在住高齢者対象の「健康とくらしの調査」への回答結果。

（性，年齢，身長，体重，既往歴，教育歴，所得状況，就労状況，家族構成，飲酒・喫煙習慣，生
活機能，身体機能，心理機能，社会参加状況，機能的能力など）

【2】京都大学が主体として実施する「地域包括ケア推進へ向けた自治体職員調査」の調査結果。

（職種、勤続年数、ワークエンゲージメント、職場でのソーシャル・キャピタル、施策化能力、組
織間連携状況など）

提供する情報：自治体の介入の有無および内容・進捗に関する情報

9. 利用または提供を開始する予定日

利用開始予定日：研究機関の長の実施許可日以降

提供開始予定日：研究機関の長の実施許可および割付終了後

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

千葉大学予防医学センター社会予防医学部門 特定助教 井手一茂

千葉大学予防医学センター健康都市空間デザイン学分野 准教授 花里真道

浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島俊之

東京科学大学歯学部健康推進歯学分野 教授 相田潤

日本福祉大学社会福祉学部 教授 斉藤雅茂

香川大学医学部看護学科 教授 芳我ちより

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学大学院医学系研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学分野・近藤尚己

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研
究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、相談窓口までその旨お知らせ頂ければ、解析対象
から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入
手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能で
す。希望される方は、相談窓口までお知らせください。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

本研究は、令和 5 年度より令和 8 年度文部科学省科学研究費補助金を資金源として実施される予定です。

2) 提供者と研究者との関係

資金提供者である文部科学省は研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与はしません。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学大学院医学系研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学分野
〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 先端科学研究棟 2 階
(Tel) 075-753-4355 (E-mail) jagesmusubi@socepi.med.kyoto-u.ac.jp
研究代表者: 近藤尚己 連絡担当者: 長谷田真帆

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛
(Tel) 075-753-9301 (E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp